

本年度の登校日数も残すところ30日程度。卒業や進級まで「あと〇日」といったことが意識される時期です。小学校では学習発表会、中学校では生徒会活動の取組等が進みます。一人一人の役割や推進日程を明確にして、計画的に進めていけるようにしたいものです。また、残された1日1日における子どもとの触れ合いを大切に、この1年間の子ども理解を基にその子の成長や長所を認める言葉がけをしましょう。



<小学校>

やって実感 今年の成長！！
～1年間の自分たちの成長ぶりを振り返ろう～

短学活時に…

音楽会で歌った歌をもう一度歌ってみましょう。

今年みんなで取組んだ歌や縄跳び…。短学活で再度やってみませんか。



歌い始めた頃と比べて今の歌はどうだった？

高い音が出なかったけれど、みんなと協力しながら何度も練習したから、今は声も出るし自信をもって楽しく歌えるようになってるよ。



太郎さん



花子さん

確かに太郎さん、上手になったわ。おかげで、太郎さんの横で歌っていると、私も自信をもって大きな声で歌えるようになったわ。

このような場面を設定することが、実際の活動を通じた成長の実感につながります。友だちの言葉で認めてもらうことで、関係も深まりますね。

文章題が苦手な児童を支援するポイント

文章題を解くための手がかりとして、キーワードを見つける方法を身に付けさせる。

Sさんは、文章を読んで意味や内容を理解することが苦手で、算数の文章題では、自分一人で取り組むことが難しいです。

- ・学級の全体指導では、基本的な文章題を具体的に図解し、キーワードと一緒に提示します。
- ・個別に様子を見て、文章題のキーワードにマーカーで印を付け、問題文の意味と図や式とがつながるように支援します。
- ・キーワード（「あわせて」、「ちがいは」、「ぜんぶで」、「のこりは」など）の意味が分からない場合は、図を使って確認できるように支援します。

→ キーワードを手がかりに、文章題にも意欲的に取り組む姿が多くなってきました。

<中学校>

学級目標の達成に、学級みんなで最後までこだわる

学級目標を達成するために、残された期間に自分が行う「私の一取組」を考えて掲示する。その上で、短学活で次のようなことをしてはどうでしょうか。

- 1 『私の一取組』発表コーナー」を設け、実際にやれたことを発表する。
- 2 1人の発表に対して、2人ほどが頑張りやさらに頑張してほしいことを発表する。



今日、A子さんは、自分の清掃分担が終わると、人数の少ない場所の手伝いに行きました。僕も、こういう気遣いをしたいと思います。

日ごろから、「良いことは良い、悪いことは悪い」と、生徒同士が言い合えるように支援することがポイントです。

「私の一取組」A子
今まで以上に清掃に集中する

文章題が苦手な生徒を支援するポイント

文章題を正確に読み取れるよう、個別に支援する

Tさんは、計算問題は得意で意欲的に取り組むのですが、文章題になると、どんな計算式にすればよいのかが分かりません。

- ・教科書やプリントを拡大コピーして行間を広げたものを用意して、ペンや指で行を追って、読む行や文字に集中できるように支援します。
- ・文章を一読した後で、文章題のキーワードにマーカーで印を付ける、文節の区切れ目に斜線を引くなどして、読みやすくするように支援します。
- ・複雑な問題文は、キーワードに注目させながら、考えやすいように、短く簡単な文に直したり、内容を整理したりするように支援します。

→ テストの文章題にもあきらめずに取り組むことができるようになってきました。